

道徳科 授業づくり講座

いのくち
in 安芸市立井ノ口小学校

授業をアップデート！
生きて働く学びを創る！

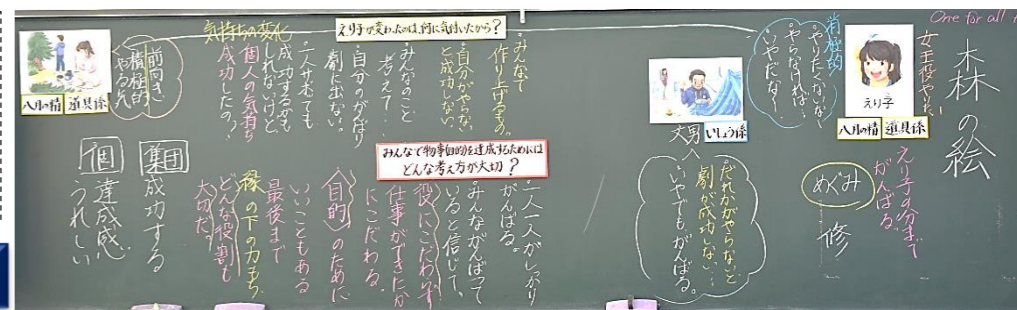
東部管内の
講座情報

令和4年12月発行
東部教育事務所



※Google Classroom

「R4 井ノ口小 道徳科授業
づくり講座」クラスコード
【sst1(エル)6f7】で単元構
想図や指導案、板書、協議シ
ートをご覧ください。



板書

道徳科 授業づくり講座 コンセプト

- 1 「考え、議論する」道徳科の授業づくり
～指導の要点の明確化と多様な指導の工夫～
- 2 授業力の向上
～授業改善のPDCA～
- 3 人のつながり、学びの高まりの構築
～他者との交流から学びの質を高める講座～

【主題名】One for all All for one
【よりよい学校生活、集団生活の充実】C(16)
【教材名】森の絵(「小学道徳 生きる力 5」日本文教出版)



【授業者】 第5学年 今橋 周平 教諭
カリマネを意識した道徳科の単元構想を立てたことで、教師自身は様々な教育活動を点ではなく、線や面で捉えて仕組むことができました。また、児童たちは「自分の役割」や「集団」ということに目を向けられるようになり、自分の想像以上に児童の成長を実感する道徳科の授業となりました。

学校提案

教材研究会(9月9日)
授業研究会(11月8日)

【本時のねらい】

えり子の心の変容を考えるを通して、集団を支えているのは自分たち一人ひとりであることに気付くとともに、集団の一員としての自覚をもち、みんなで協力してよりよいものをつくっていかうとする態度を養う。

【指導の要点】(何に気付かせたいか、何を引き出したいか)
集団の中では、必ずしも自分の思いや希望が優先されるとは限らないが、みんなで物事を行うためには、それぞれが役割をもち、力を合わせる事が大事である。その役割にはよいも悪いもなく、すべてが大切なものであることに気付かせ、集団を支えているのは自分たち自身であることを自覚し、集団における自分の役割を果たしていくことについて考えを深めさせる。

【授業を通して引き出したい児童の考え】(指導の要点を児童の言葉にすると...)

- ◇どんな役割でも、その役割がなかったら目的は達成しない。だからどんな役割も大切な役割なんだ。
- ◇自分たちがやってきた委員会や縦割り班での役割は、みんなが気持ちよく過ごせることにつながっていたんだ。
- ◇自分の力で集団をもっとよりよいものにすることができるんだ。

教材研究会を受けて...

自分自身との関わりで考えるための工夫

- 児童が役割を果たしている場面の写真提示や発問をする。
- 学級目標の「One for all All for one」をどう捉えているか導入と終末に考えさせる。

多面的・多角的に捉えるための工夫

- 気持ちが変わる前と後のえり子を板書で対比し、どこが変わったのか、なぜ変わったのかを問う。

主題に迫るための工夫

- 中心発問
心情変化の理由を問う発問から、価値理解を深める発問に変更し、問い返して更に深める。
- 問い返し案
「役割を果たすのは何のため？」
「自分のやりたくない役割を頑張れる？」

本時の展開(実際の研究授業の様子)

	○主な発問	・児童の反応	◆問い返し
導入	○みんなで物事(目的)を達成するときには大切な考え方は？ ・心を合わせる ・協力する ・みんなで努力する ・学級目標を思い出す		
展開	○えり子の気持ちが分かる？同じようなことある？ ・分かる。自分の希望の委員会になれなかった。		
	○役割は変わっていないのに、どうしてえり子の気持ちは変わったの？ ・文男や他の友達が頑張る姿を見たから。 ・劇はみんなで作るものだから。		
	中心発問○みんなで物事(目的)を達成するときには、どんな考え方が大切？ ・希望の役割でなくても、みんなのために責任を果たす。		
終末	◆自分よりみんな優先？やりたくない役割では、投げやりになっても仕方ないのでは？ ・自分だけさぼったら、全体の成功にはなるけど、個人の成功にならない。 ・げきは成功しても、自分の気持ちが成功しない。 ・でも、自分の役を取られた人のためには頑張りたい気持ちもある。		
	◆やっぱり、重要な役割とそうではない役割があるということ？ ・「縁の下の力持ち」ということ。どんな係でも大切。 ・みんなで取り組んだら、みんなにとっていい。		
	○運動会の係や委員会活動をしている写真を見てみよう。どんな気持ちでいたの？ ・希望の係ではなかったけど、頑張っていたな。・みんなのために嬉しかった。		
	○今日の学習を通して、新しく気付いたことや考えたことは？(ロイロノート) ・我慢するときもあるけど、一人でも仕事をしないとみんなの成功にならない。 ・目立たなくても、頑張ればきっと大きな成功になるし、自分たちの目標に近づく。 ・低学年やみんなを引っ張るために、目立つ仕事でも陰の仕事でも頑張りたい。		

グループ協議 協議の柱:指導の工夫について

自分自身との関わりで考えるための工夫

- 深めさせたいところでそれぞれに考えをもたせ、ペアワークを入れていたことが効果的であった。
- 展開後半で運動会の係活動の写真を活用したことで、自分達が役割を果たした体験とつなげて考えられていた。
- (別案) 中心発問の前に運動会の写真を見せ、そのときの役割に対するそれぞれの思いを出させると多様な考えが出るのではないか。

指導の工夫

多面的・多角的に捉えるための工夫

- ロイロノートを活用したことで、友達の考えを知り、さらに考えを広げられていた。
- 教師対子供のやりとりが多かったため、思いを引き出したり、子供同士が議論したりすることで考えを深めていくとよい。(子供の意見をつなぐ、理由を掘り下げるなど)



主題に迫るための工夫

- 「8月の精と冬の女王、どちらが大切？」という問い返しが効果的で、「どんな役割でも大切」という考えを引き出せていた。
- 「自分の気持ちが成功しないってどういうこと？」「みんなの成功ってどんなもの？」と問い返し、様々な意見を交流させたい。
- 「役を取られた人のために頑張りたい」とは、人間の弱さが出た貴重な意見だった。共感させ、もっと掘り下げたい。

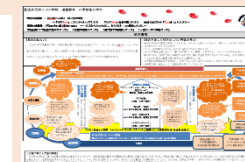
講師の指導・助言



高知大学
森 有希 教授

1 道徳科の単元構想について

教育活動の質の向上を図るため、学校が育成を目指す資質・能力の視点から教育活動を縦に見て重点化を図り、教科横断的な視点で他教科等との横の関連を図る。井ノ口小学校の道徳科と特別活動を中心とした単元構想は、児童の変容を把握してカリキュラムを評価するものにもなっており、このような組織的取組は大変効果的である。



2 児童生徒全員が「考え、議論する」には ※道徳的価値についての考えを深める活動をもとに

ポイント1 主に人間理解の側面からの問い返しを考える

◎価値の大切さは分かっているけど実現することは難しいという人間の弱さから問い返し



- ・一人ぐらい頑張らなくても大丈夫では？
- ・役を取られた人のために頑張りたい気持ちがあるのに本当に協力できる？
- ・やっぱり嫌な役は頑張らなくていいということ？

ポイント2 主に他者理解の側面からの意見交流を考える

◎出てきた意見から選択肢をつくり、立場を明らかにして意見交流につなげる

- ・みんなからはこんな意見が出たね。自分は特に大事だと思うことはどれ？
- ・どうしてそう思うか、意見を交流してみよう。

みんなで物事を達成するために

- A: やりたくない仕事でも我慢する
- B: 一人一人が頑張る
- C: 目的を忘れない



道徳教育のカリキュラム・マネジメントと全員参加の「考え、議論する」授業づくりのポイント

- ★ポイント1 学校の道徳教育のカリキュラム・マネジメントを進めるためには、学校で育成を目指す資質・能力を道徳教育の重点として意識し、他教科・特別活動等との関連を図る。成長を把握し、カリキュラムを評価していく。
- ★ポイント2 全員が意見を交流しながら考え、議論するには、「人間の弱さからの問い返し」や「選択肢を選んでの意見交流」も有効である。